



子育て支援センター

☎ 985-4151

主に就園していない子どもとその親を対象に活動していますが、内容によって小学生、就園児、妊婦なども参加できます。

11月活動案内	行事	親子ふれあいサークル		フレンドサークル		育児わくわくサークル	保育交流サークル
	内容	親子あそびの体験(リズムあそび・製作あそび・お話など)		親子の友だちづくりや自主活動の場		育児講座	保育施設でのあそび体験
	コース名	ほほえみクラブ	ひまわりクラブ	フレンドクラブ		ママでスクール	まさきっこクラブ
名 称 日・曜	東公民館	くま(2歳以上)	10日(金)	バルーン(妊婦対象)	1日(水)	「自立と思いやりを育てる心のコミュニケーション」 30日(木)10:00~11:30 講師：松山赤十字病院 カウンセラー 平林茂代先生 場所：松前町総合福祉センター2階 要予約(27日(月)まで) ※ 託児あり。要予約	小富士保育所 1日(水) 若葉保育所 7日(火) 松前保育所 9日(木)
	8日(水)	スクールキッズ	11日(土)	年齢別2歳	2日(木)		
	北公民館	のびのび	17日(金)	ママパパキッズ編集会	9日(木)		
	15日(水)	ファミリーランド	18日(土)	ブックフレンドパーク	13日(月)		
	西公民館	ひよこ(0歳)	24日(金)	(10:00~15:00~)	あそび工房		
28日(火)	うさぎ(1歳)	29日(水)	なかよし誕生日会	16日(木)	フリーマーケット	20日(月)	
場所	各公民館	松前町総合福祉センター				各保育所・幼稚園	
その他	<p><b>サークル活動に関すること</b></p> <p>◎主に、就園していない子どもとその親を対象に上の日程に従って活動を行います。</p> <p>○登録(随時受け付けています)をしてから各コースに参加できます。(内容によって、小学生、就園児、妊婦など参加可能)</p> <p>○時間の記入がない場合は、すべて10:00~11:30に実施します。内容は10:00~11:00(サークル活動)と11:00~11:30(自由あそび)とに分かれています。</p> <p>○予約や年齢・対象が記入されていない場合は、予約なしでどなたでも参加できます。</p> <p>○<span style="color:red">●</span>マークのあるところは、希望に応じて、お茶を飲むことができます。料金が必要。</p> <p>※ 詳しくは、子育て支援センター発行の毎月の活動チラシやHP、下記までお問い合わせください。</p> <p><a href="http://www.town.masaki.ehime.jp/koce/">http://www.town.masaki.ehime.jp/koce/</a>      予約・問い合わせ ☎985-4151</p> <p><b>子育て相談</b></p> <p>○子育て相談「ちょっと聞いてコール」 毎週月~金曜日 9時~17時(左記時間外も可能) 電話、面談、家庭訪問など希望に応じて実施します。</p> <p>○ふらっと子育て応援隊 随時予約を受けて実施します。 サークルの運営や、親子遊びのアドバイスなど担当者が出かけていってお手伝いします。</p> <p><b>まさきファミリー・サポート・センター</b></p> <p>○育児の手助けを有料で行う会員登録制の組織です。</p> <p>子育て相談/まさきファミリー・サポート・センター共通 ☎960-3269</p>						

ふるさと歴史散歩⑱

大間・上高柳めぐりコースⅡ

(松前史談会レポート)

- ① 五松庵跡に着く。立派な石碑と武智五友の説明板があるが、現在は老人憩いの家となっている。子規の良友として知られ、また清廉潔白の政治家としても松前町の誇りである武市庫太は、10歳ごろから五松庵塾(荒神庵塾)で五友に学び、のち、墨水学校では村井俊明の教えを受けている。当時、先輩には秋山好古の兄、鹿三が在学し、四書の素読を受けたという。  
(福島正利著「武市庫太」)
- ② 北東に向かって少し歩くと、白鶴保育所の西に大きな墨水学校跡碑がある。碑文(昭和54年吉日重川家俊先生撰文)からは、高邁な建学の精神と建碑に携わった人々の気概が伝わってくる。  
墨水学校は、明治6年(1873)11月の開設であり、

これが、学制により設立された町内最初の学校である。それぞれの地区にあった塾・指導者・向学心を基に、分校が岡田・北伊予・松前校区に次々と設置された。「教育の町」松前町の原点がここにある。  
(「松前町誌」教育の項参照) \*墨水=隅田川、別名泉川

- ③ 老人憩いの家の場所にあった荒神様は、上高柳上屋敷にあった子育て地藏と合祀して、新築した荒神堂(墨水学校の東)に祀られている。子育て地藏尊は、ご尊体の中にあつた戒名(真月映照信女)から推察して、施主が若くして愛児を遺して逝った妻の供養と子どもの健やかな成長を願って、名のある仏師に彫らせた仏像であると信じられている。子どもを水難から守る伝承がある。



▲荒神堂の内部—右側に子育て地藏尊が見える。



▲荒神堂うらの灯籠

11月4日(土)は、北川原33か所観音めぐりの予定。8時30分、教明寺集合。

問い合わせ  
松前史談会(鷺野) ☎984-5439